

街かど

●募集しています
 ・短歌
 ・俳句
 ・詩
 ・随筆
 ・イラスト
 ・写真
 ・まんが
 ・その他
 ●町への意見や要望も受け付けます
 ●文章は苦手という方は連絡を取材に行きます
 ●匿名もよいです
 ●投稿・連絡先は黒崎町大野2843-1 広報「街かど」係 ☎377-3101



平将門と黒鳥兵衛 (黒鳥兵衛について③)

大谷 一男

荘園制度は都から遠国にあたる越後の国は比較的遅く十世紀、十一世紀頃に成立している。しかし、十世紀の初頭は全国的に荘園制度の矛盾が露呈され私領化が進行した時期であった。

荘園領地内の土豪層は自らの権益を守るために農兵の武装集団を組み始め、武士社会の芽ばえが始まった時代でもあった。

逆説的に黒鳥兵衛を見直してみたいと考えて興味を惹かれた。余りにも平将門の伝説に類似するところが多いからである。

黒鳥の地名の由来に、殺された黒鳥兵衛の首が空中を飛んで落ちてきた場所として伝えられている。兵衛が本当に悪人であればなんで地名をつけることは考えられないであろう。むしろ民衆の英雄であらう。むしろ民衆の英雄であればのこととして理解するのが正しいと考えられる。

黒鳥の地名の由来に、殺された黒鳥兵衛の首が空中を飛んで落ちてきた場所として伝えられている。兵衛が本当に悪人であればなんで地名をつけることは考えられないであろう。むしろ民衆の英雄であらう。むしろ民衆の英雄であればのこととして理解するのが正しいと考えられる。

将門と兵衛との共通する伝説の一面については更に詳しく列記しなければならぬが、見落としてはならないのが怨霊問題である。

私領化の典型として平将門の乱が挙げられる。将門は常陸の国司であった叔父にあたる平国香を倒して新皇と称して関東一円を占領した。このことは律令国家の原則を守ろうとする体制側から見ればとんでもない反逆児としてとらえられた。しかし、関東一円には民衆の英雄として数々の伝説が残されている。

一方において、越後の黒鳥兵衛にも数々の伝説が残されているが残念ながら悪逆化させている。黒鳥の地名の由来に、殺された黒鳥兵衛の首が空中を飛んで落ちてきた場所として伝えられている。兵衛が本当に悪人であればなんで地名をつけることは考えられないであろう。むしろ民衆の英雄であらう。むしろ民衆の英雄であればのこととして理解するのが正しいと考えられる。

八幡太郎義家が黒鳥兵衛の首を塩漬にして地中に埋め榎木を植えて塚とし兵衛の霊を慰めた、いわゆる首塚(緒立八幡神社)の問題などは義家が兵衛に対して特殊な感覚を持っていたことを意味する。また、このことは黒鳥兵衛の人物像を想像する上でのキーポイントである。

この時代は寿命を尽くさないで殺された者の恨みにおびえるという霊魂に対する信仰が伝わっていた。例えば洪水が激しく起こるとか、疫病による飢餓などは恨みを残して死んだ人のせいであると考えていた。

五頭町民登山に参加して

本間 和己 (板井四)

以前から参加したいと思っていた町民登山に、友達と連れ立って行くことにしました。当日は、空は青く晴れ上がり、絶好の登山日和でした。山に登るのは何年(何十年?)ぶ

りかのごとで、主人に「五頭へ行く」と話したら、「あそこは結構きつところだよ。大丈夫」と言われて、少々不安になりましたが、「エーイ、なんとかなるだろう」

体育館前に集合してビックリ。皆さんのいでたちは、我々とは比較にならない本格的なもの。またまた不安にかられる二人でした。後で、山の会の方が多いのもっともなこと

だと納得。参加者は小学校二年生から六十代の方までいろいろでした。駐車場までバスを降り、いよいよ出発。自分のペースで遅れずについていこうと決め

順調でした。何だ、こんなものか、と思ったものです。ところが口にはださなかったけど、途中から足が重くなり大変でした。心の中で「ヨイシヨ、ガンバレ」と声をかけ、一歩また一歩と前進あるのみでした。三の峰、二の峰に上った時には「ヤッター」という気分でした。あー疲れた。でも気分爽快でした。山頂

でいただくおにぎりのおいしこと。また、山の会の方が作ってくださった豚汁の味が格別でした。晴れていたのに、佐渡、粟島を一望にし、飯豊、守門などの(その他教えていただいたが忘れた)山々を見渡し、幸せな気分にはたることができました。

帰りは五の峰まで縦走し、五頭スキー場へとおりたので、部屋中の忘れられたる風鈴がクラーの風に「際涼し

す。スキー場のススキの原が素敵でした。途中からは膝がガクガクし、何度か滑りそうになったことも。先に進むことに懸命で、周囲の木々や草花にまで目を向ける余裕はありませんでしたが、無事に駐車場にもどってこれました。

短歌

黒崎短歌会

大谷 モト

俳句

黒崎俳句会 (静水邊)

みよし

亡き夫の愛用したれば捨てがたく品々の数土用干しする 渡辺 ウタ

我が前を行く若者がさり気なく歩道橋より空を眺めてぬ 堀内 昌江

幸福の道標地蔵秋萩 幸福の道標地蔵秋萩 幸福の道標地蔵秋萩

上棟の槌音御雲の峰 新涼や真珠の似合ふ人に逢ふ

昔より伝わる盆唄面白く踊りつつ一人笑みの込み上ぐ 泉井 ヨ子

胃カメラの順番待つ人々は無言にて名を呼ぶ声のみ待合室にひびく 笠原 セツ

稲舟は竿横たへて橋くぐる 木洩れ日の木の根に赤く数柑子

朝顔や肌色黒き作り人 車椅子の夫の肩にも赤とんぼ

何事か叫べる如し植え主の逝きたる隣家にけいとう赤し 山田 卯八

秋時雨紫サルビア周囲り来て山鳩行き交い痴話の仲間 永田 和子

秋晴や沖行く船の動かさる 睦 治

秋晴や沖行く船の動かさる 睦 治

芸能・音楽発表会

11月19日(日)午前10時~
 北部地区公民館 講堂
 ※多数のご来場をお待ちしています。



卓球大会

11月19日(日)
 総合体育館
 ※参加申し込みは11月12日までに総合体育館 ☎377-5211まで

第7回 秋季卓月盆栽展

日時・11月24日(金)~26日(日)
 会場・北部地区公民館
 主催・新潟県卓月盆栽研究会 ☎377-4059石橋

あなたもいっしょにステップを...

第4回 町民社交ダンスパーティー

日時・11月23日 午後6時~9時
 会場・総合体育館
 会費・前売600円、当日800円
 (チケットは、総合体育館、北部地区公民館で取り扱っています)
 ☎教育委員会 (☎377-5211)

